貝塚市議会議員

南野敬介市政ニュース

第15号　2018年　秋発行（部内資料）

来春4月の貝塚市議会議員選挙には
立憲民主党公認で立候補

ごあいさつ

市民の皆さん。

私、南野けいすけは、来年四月に行われます貝塚市議会議員選挙に立憲民主党の公認候補として立候補する事となりました。

これまで三期十二年を無所属で議員活動・議会活動に取り組んできました。

党派にとらわれず市民派議員として活動したかったからです。

では、なぜ立憲民主党なのか？

私自身、これまで人権確立社会を目指して様々な取り組みを行ってきました。

またそんな取り組みなの中で色んな経験もさせていただきました。

部落差別をはじめ障がい者問題、や在日外国人差別の問題などの取り組みを行い、多くの皆さんと共に「福祉と人権」をキーワードに取り組んできました。

そんな多くの仲間の皆さんと共にこれからも政治活動、議員活動を進めたいという思いも出てきたからです。

もう一つは、政党に所属することにより、各市・各都道府県、国と連携することができます。

貝塚市も大阪府や国からの補助やバックアップ無しでは災害対策対応一つとっても進めることができません。

そう考えるとそれぞれの役割を担いつつ同じ思いで連携できる政党に所属する事も大切ではないかと考えました。

そこで私は普段の取り組みや自分自身を見直したときに「立憲民主党」の考えに同感することが多く今回、立憲民主党に入党し、来年四月の貝塚市議会議員選挙に立憲民主党公認候補として立候補する事となりました。

政党に所属するからといって、これまで取り組んできた事が変わることはなく、これまで以上に市民派議員として取り組んでいきたいと考えています。

市民の皆さん

今後とも、南野けいすけに対しまして変わらぬご支援をお願い申し上げ、立憲民主党入党と公認候補として立候補する決意のご挨拶とさせていただきます。

二〇一八年　秋

貝塚市議会議員

南野　敬介

庁舎建替問題対策特別委員会

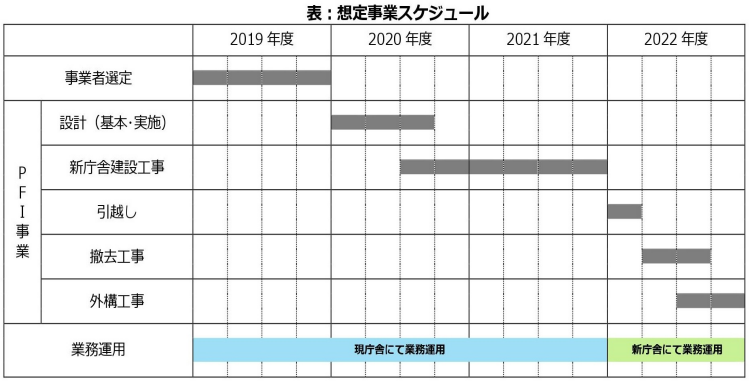
現在貝塚市では、新庁舎建設に向けて動き出しています。

藤原龍男市長の「市民の命を守るために新庁舎を」という強い決意のもと、先日は「市民会議」等も開かれ、新庁舎にむけての素案もまとめられました。

先日の台風二十一号で貝塚市内も甚大な被害がでました。貝塚市役所本庁も被災しました。

2）事業スケジュール

表：想定事業スケジュール



市民の命を守るために新庁舎建設を進めなければならないと考えています。

そこで今回は四月に行われた「庁舎建替問題対策特別委員会」での質疑を掲載します。

当時南野市議は特別委員会の副委員長として委員会の運営に携わりながら、よりより新庁舎となるよう質疑を行いました。

《庁舎建替問題対策特別委員会》

◆南野敬介副委員長

業推進体制で、副市長を先頭に検討委員会が設置されるということですが、いつごろからスタートするのか、またワーキンググループが各関係課長で構成されるが、その議論のペースと、課題の見つけ出し方等も含めて、どう考えているのか。

◎総務課長

検討委員会は、五月に第一回目の開催を予定。ワーキンググループは、月二回程度の開催しテーマごとにお諮りいただく予定。

◆南野敬介副委員長

その議論の過程などをまとめて、次回の庁舎建替問題対策特別委員会に、その都度報告になるのか、または、その都度にホームページで公開するのかどのように考えていますか。

◎総務課長

検討委員会の中身は、庁舎建替問題対策特別委員会に報告します。

◆南野敬介副委員長

市民との情報共有ですが、障害者団体、町会連合会、市民の公募ということですが公募について、基準を考えていますか。

◎総務課長

市民在住・在勤等を条件に考えています。

◆南野敬介副委員長

基本的には、市内に住んでいれば誰が手を挙げても受け入れるというくらいの感じですか。

◎総務課長

市内にお住まいの方ということで想定しております。

◆南野敬介副委員長

いろいろ考えていただいて、ふさわしいかどうかというのは現場で判断していただければと、議会からお願いしておきたいと思います。

◎藤原龍男市長

今、市民ワークショップの選考について、市民、在勤者、という説明がありましたが、定数はやはり、設けていこうと思います。総合計画のワークショップの際も一定の定数を設け論文等で応募の方向などを、当時もそうさせてもらったので、やっぱり定数がないと。

無限大ということはないのでその辺は、総合計画にならっていきたいと思います。

《貝塚市庁舎計画（素案）発表される》

十月には貝塚市庁舎計画（素案）が発表され、パブリックコメントが募集されました。

この素案は市民公募三名を含む市民ワークショップのメンバーの意見を取り入れたものです。

具体的な計画や現有施設の利用方法なども提示されています。

細かな議論はこれからになると思いますが、命を守る庁舎を目指して頑張ります。